

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公開番号】特開2018-110964(P2018-110964A)

【公開日】平成30年7月19日(2018.7.19)

【年通号数】公開・登録公報2018-027

【出願番号】特願2018-81690(P2018-81690)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月8日(2019.3.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定にて特別の結果が得られると遊技者に利益を付与する利益付与手段とを備え、前記判定手段による判定に応じた表示が行われる遊技機であって、

遊技者による操作を受ける第 1 操作受け部と、

前記第 1 操作受け部に対する操作によって生じる第 1 特定事象を検出する第 1 特定事象検出手段と、

前記第 1 特定事象が検出されると演出に関する第 1 処理を実行可能な第 1 演出関連処理実行手段と、

前記第 1 操作受け部とは別に設けられ、遊技者による操作を受ける第 2 操作受け部と、

前記第 2 操作受け部に対する操作によって生じる第 2 特定事象を検出する第 2 特定事象検出手段と、

前記第 2 特定事象が検出されると演出に関する第 2 処理を実行可能な第 2 演出関連処理実行手段と

を備え、

「前記第 1 特定事象が検出されると演出に関する前記第 1 処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第 2 特定事象が検出されても演出に関する前記第 2 処理の実行が許容されない状態」にあるときに特定条件が成立すると、「前記第 1 特定事象が検出されると演出に関する前記第 1 処理の実行が許容される状態」を維持したままで「前記第 2 特定事象が検出されると演出に関する前記第 2 処理の実行が許容される状態」を発生させるが、前記特定条件が成立してから所定時間が経過すると、「前記第 1 特定事象が検出されると演出に関する前記第 1 処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第 2 特定事象が検出されても演出に関する前記第 2 処理の実行が許容されない状態」へと戻されるようになっており、

さらに、

「前記第 1 特定事象が検出されると演出に関する前記第 1 処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第 2 特定事象が検出されても演出に関する前記第 2 処理の実行が許容されない状態」において、前記第 1 操作受け部に対する操作が行われているなかで前記特定条件が成立した場合であっても、「前記第 1 特定事象が検出されると演出に関する前記第 1

処理の実行が許容される状態」を維持したままで「前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」を発生させるようになっており、

さらに、

「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」において前記第2操作受け部に対する操作が行われて特定タイミングで前記第2特定事象が検出されたとすると、該特定タイミングの前後に跨るかたちで前記第1特定事象が複数回にわたって検出された場合であっても、前記第1演出関連処理実行手段による前記第1処理は、該第1特定事象が検出される都度でそれぞれ実行可能とされ、

さらに、

「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」において前記第2特定事象が検出されたときには、該検出に基づいて、「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されても演出に関する前記第2処理の実行が許容されない状態」へと戻されるとともに、前記第2演出関連処理実行手段による前記第2処理に応じた演出が現れるようになっており、

前記第2演出関連処理実行手段による前記第2処理に応じた演出が現れているなかで前記第1特定事象が検出されて前記第1演出関連処理実行手段による前記第1処理が実行されると、前記第2処理によって現れている演出に変化が生じる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

手段1：遊技の進行に基づいて判定を行う判定手段と、前記判定手段による判定にて特別の結果が得られると遊技者に利益を付与する利益付与手段とを備え、前記判定手段による判定に応じた表示が行われる遊技機であって、

遊技者による操作を受ける第1操作受け部と、

前記第1操作受け部に対する操作によって生じる第1特定事象を検出する第1特定事象検出手段と、

前記第1特定事象が検出されると演出に関する第1処理を実行可能な第1演出関連処理実行手段と、

前記第1操作受け部とは別に設けられ、遊技者による操作を受ける第2操作受け部と、

前記第2操作受け部に対する操作によって生じる第2特定事象を検出する第2特定事象検出手段と、

前記第2特定事象が検出されると演出に関する第2処理を実行可能な第2演出関連処理実行手段と

を備え、

「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されても演出に関する前記第2処理の実行が許容されない状態」にあるときに特定条件が成立すると、「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態」を維持したままで「前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」を発生させるが、前記特定条件が成立してから所定時間が経過すると、「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されても演出に関する前記第2処理の実行が許容されない状態」へと戻されるようになっており、

さらに、

「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されても演出に関する前記第2処理の実行が許容されない状態」において、前記第1操作受け部に対する操作が行われているなかで前記特定条件が成立した場合であっても、「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態」を維持したままで「前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」を発生させるようになっており、

さらに、

「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」において前記第2操作受け部に対する操作が行われて特定タイミングで前記第2特定事象が検出されたとすると、該特定タイミングの前後に跨るかたちで前記第1特定事象が複数回にわたって検出された場合であっても、前記第1演出関連処理実行手段による前記第1処理は、該第1特定事象が検出される都度でそれぞれ実行可能とされ、

さらに、

「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されると演出に関する前記第2処理の実行が許容される状態」において前記第2特定事象が検出されたときには、該検出に基づいて、「前記第1特定事象が検出されると演出に関する前記第1処理の実行が許容される状態にあり且つ前記第2特定事象が検出されても演出に関する前記第2処理の実行が許容されない状態」へと戻されるとともに、前記第2演出関連処理実行手段による前記第2処理に応じた演出が現れるようになっており、

前記第2演出関連処理実行手段による前記第2処理に応じた演出が現れているなかで前記第1特定事象が検出されて前記第1演出関連処理実行手段による前記第1処理が実行されると、前記第2処理によって現れている演出に変化が生じる

ことを特徴とする遊技機。